

○「超小型モビリティ」の利用に関して、 便利または問題と感ずることについて（自由回答）

（件数）

良い点

小回りがきく、狭い道で便利、離合が楽

9

手軽、近距離の移動に便利

4

音が静か

3

駐車が便利、自宅駐車場が小さくてよい

3

ガソリンスタンドへ行く必要がない

2

電気利用が安価、燃費が良い

2

その他のメリット等

3

窓が無くて寒い（夏は暑い）、雨天時に困る

14

ロックできないのが心配、不便

5

スペースが狭い、荷物が入らない

5

後が見えない、バックが難しい

4

振動が大きい、クッションが悪い

3

バックなどの操作が難しい、分かり難い

3

座席が低く乗降困難（高齢者など）

2

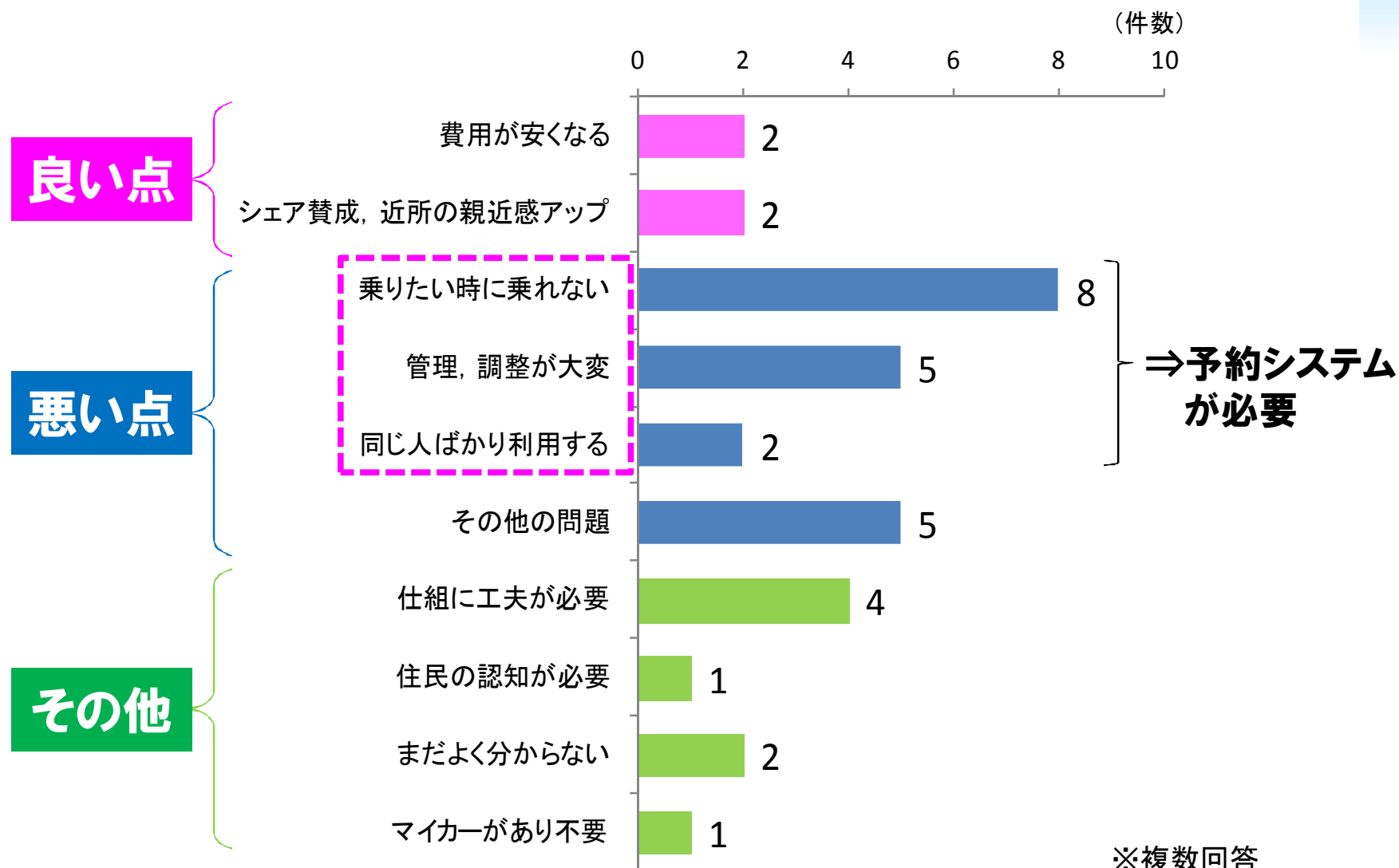
その他の問題等

4

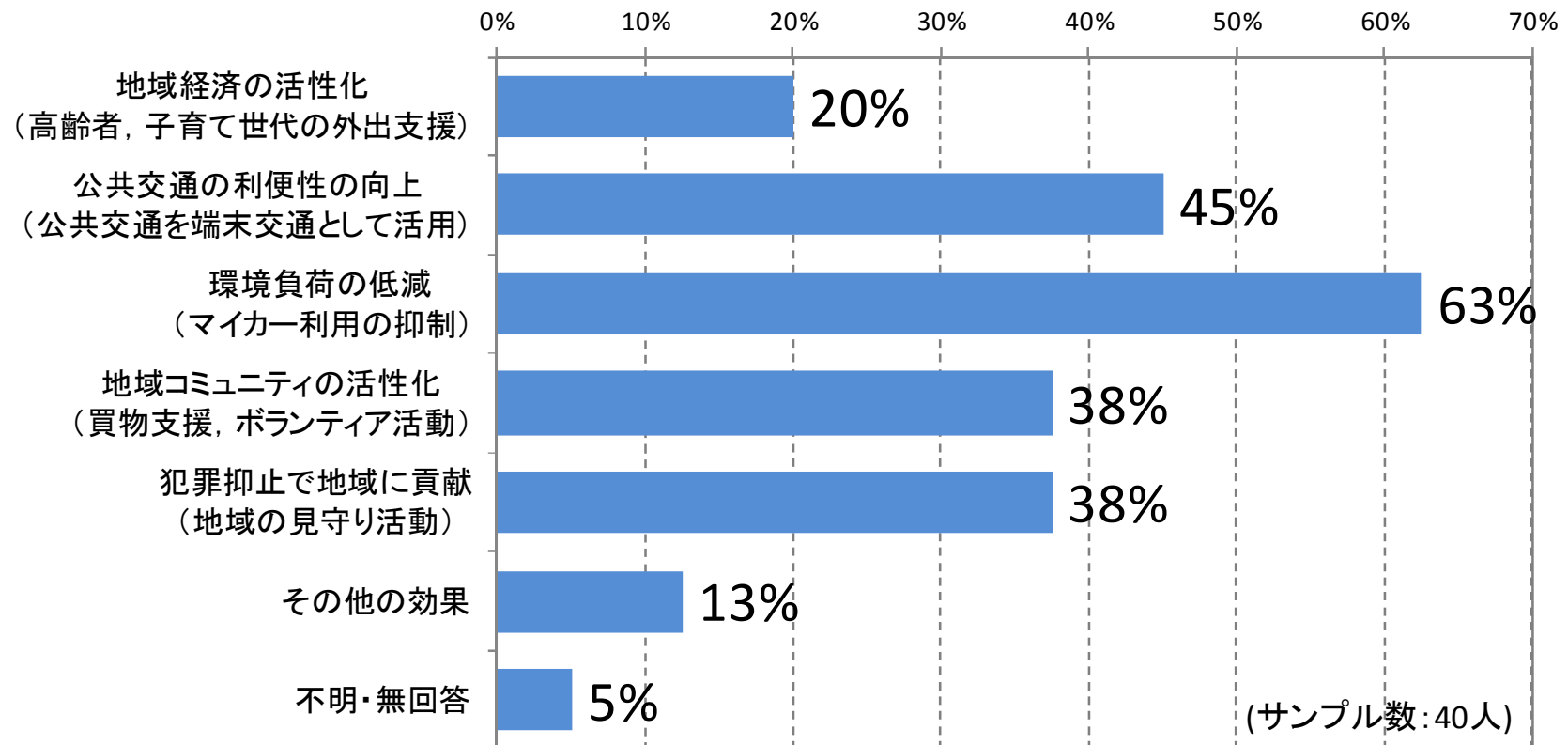
悪い点

※複数回答

○ 実際に利用して「車両の共同利用」に関して、 便利また問題と感じたことについて（自由回答）



○超小型モビリティ活用に期待できる効果



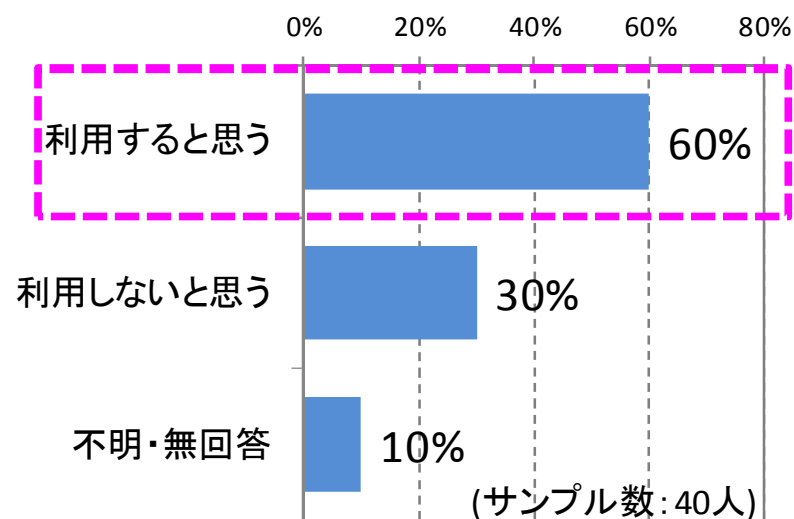
【“その他”の内容】

- 町内会の業務, 会費集金, 町内会会報配達, 町内みまわり
- 手軽な為, 外出したくなる

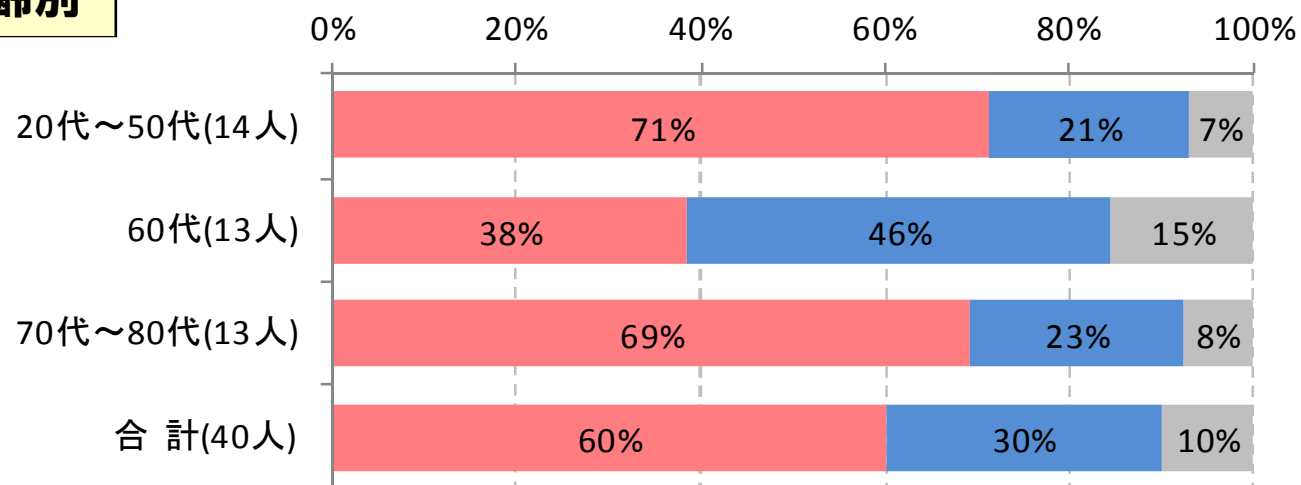
※複数回答

など

○共同利用を導入した場合の利用意向



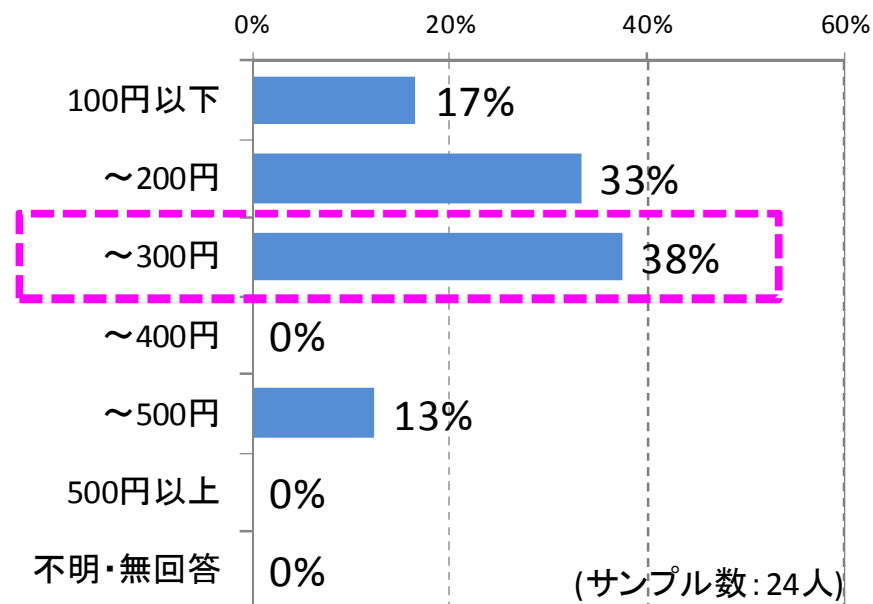
年齢別



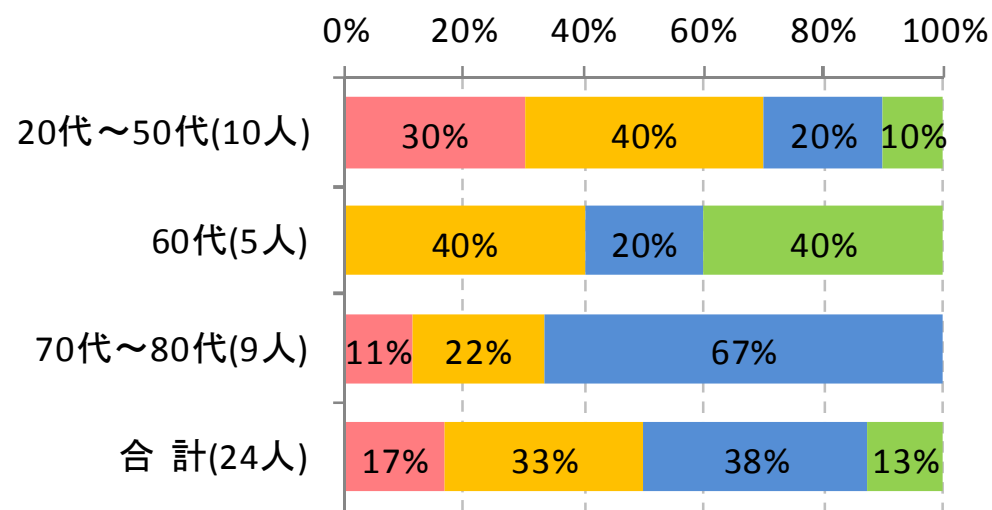
※()内はサンプル数

■ 利用すると思う ■ 利用しないと思う ■ 不明・無回答

○利用する場合に支払える料金（1回あたり）



年齢別



※()内はサンプル数

■ 100円以下 ■ ~200円 ■ ~300円 ■ ~400円 ■ ~500円

④車両管理に関する意見（グループリーダーより）

グループで一定の場所に置く方がよい。
その場合、ノートなどに記入し、行き先・使用時間などが分かるようにすれば良いと思う。

集会所での車両の保管は、特に問題なし。

今回行った車両・
鍵の管理方法

- ・グループ人数：6人
- ・あらかじめ、利用時間をモニターへ割り当て
- ・車両とキーは、割り当て日時に、各モニターが自宅で管理

- ・グループ人数：10人
- ・1日単位で車両の割り当てを行い、空白日はリーダーが乗車
- ・車両とキーは、集会所で管理

※ グループ利用については、利用調整がうまくいかないため、グループ代表者が各モニターに事前に利用日の割り当てを行った。

⑤地区別の特徴

■若葉台

- ☞若い世代、女性のモニターが多く、買物目的、子どもを同乗した利用が多い。
(若葉台は子育て世代が多く、同様の利用が見込まれる)
- ☞走行性、楽しさ、狭い道での有効性における評価が高い。
- ☞共同利用導入後の活用意向は60%。

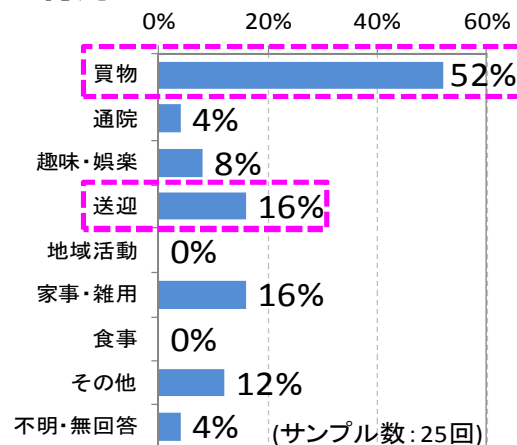
モニターの特徴

モニター数 利用の
10人(9人)
年齢・別

	男性	女性
40代まで	2人	6人
50,60代	1人	1人
70代以上	0人	0人

モニター利用の特徴

利用

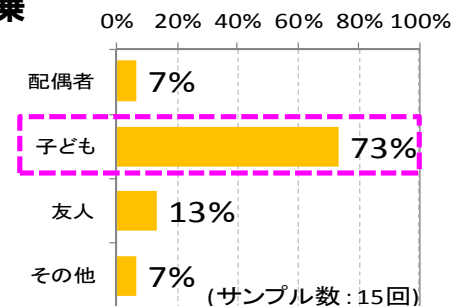


乗の

(不明除く)

■ 1人で利用 ■ 2人で利用

乗



利用の

乗りと行

	良い	普通	悪い	不明
乗り心地	0%	44%	56%	—
のぼり坂の走行性	56%	44%	0%	—

行の

- ・範囲が広がった: 0%
- ・期間が長ければ広がると思う: 22%

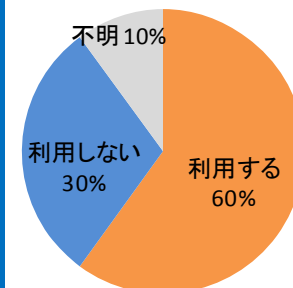
車とて

	A	B	C	不明
楽しい、気持ちいい	67%	22%	11%	—
狭い道で便利	78%	22%	0%	—
気軽に使えそう	33%	56%	11%	—

- : 全くそのとおり
- : 少しそう思う
- : そう思わない

※赤い文字: 50%以上

利用時の



■伴東地区

- ☞ 50代以上、男性のモニターが多く、買物以外の目的では趣味・娯楽、地域活動が多い。1人での利用が多いが、同乗の場合は配偶者が多い。
- ☞ 狭い道での有効性や気軽さでの評価が高い。
(特に伴東地区は狭い道路が多いため、効果が大きい)
- ☞ 共同利用導入後の活用意向は57%。

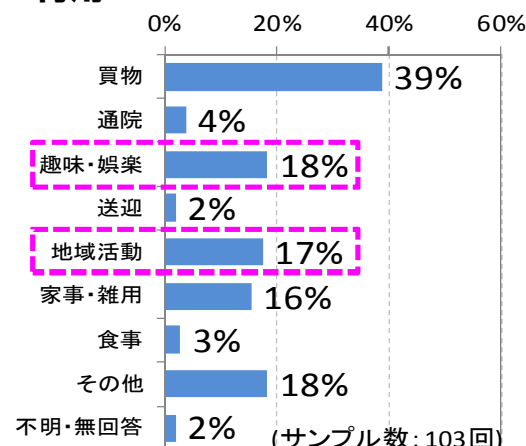
モニターの特徴

モニター数 利用の
21人(20人)
年齢・別

	男性	女性
40代まで	1人	1人
50,60代	10人	1人
70代以上	8人	0人

モニター利用の特徴

利用

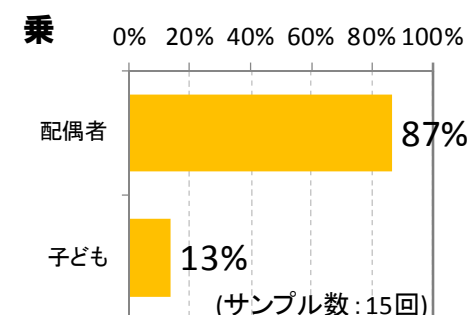


乗の

(不明除く)

■ 1人で利用 ■ 2人で利用

乗



利用の

乗りと行

	良い	普通	悪い	不明
乗り心地	10%	40%	50%	—
のぼり坂の走行性	40%	50%	5%	5%

行の

- ・範囲が広がった: 15%
- ・期間が長ければ広がると思う: 30%

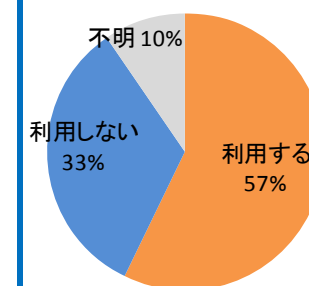
車とて

	A	B	C	不明
楽しい, 気持ちいい	20%	60%	20%	—
狭い道で便利	65%	35%	0%	—
気軽に使えそう	50%	40%	10%	—

- : 全くそのとおり
- : 少しそう思う
- : そう思わない

※赤い文字: 50%以上

利用時の



■下城ハイツ

- 70代以上, 男性のモニターが多く, 買物以外の目的では趣味・娯楽、地域活動が多い。1人での利用が多い。(町内会でグループ利用されており, 地域活動でも活用)
- 走行性, 狭い道での有効性における評価が高い。
- 共同利用導入後の活用意向は67%と高い。

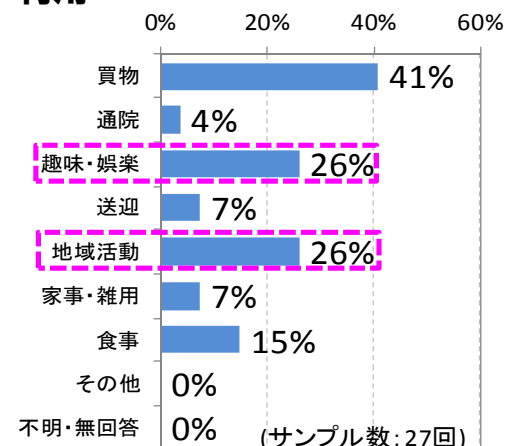
モニターの特徴

モニター数 利用の
9人(8人)
年齢・別

	男性	女性
40代まで	2人	0人
50,60代	2人	0人
70代以上	5人	0人

モニター利用の特徴

利用

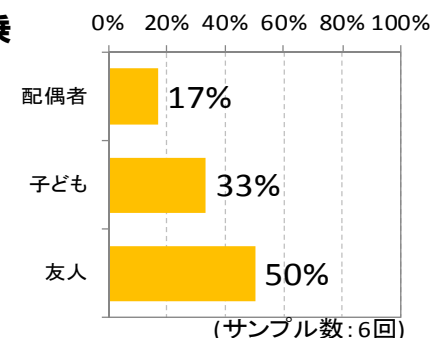


乗の

(不明除く)

■ 1人で利用 ■ 2人で利用

乗



利用の

乗りと行

	良い	普通	悪い	不明
乗り心地	13%	25%	63%	—
のぼり坂の走行性	50%	50%	0%	—

行の

- 範囲が広がった: 0%
- 期間が長ければ広がると思う: 38%

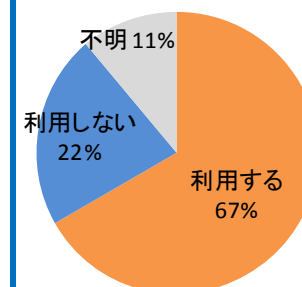
車, と て

	A	B	C	不明
楽しい, 気持ちいい	0%	38%	50%	13%
狭い道で便利	63%	38%	0%	—
気軽に使えそう	13%	63%	25%	—

- : 全くそのとおり
- : 少しそう思う
- : そう思わない

※赤い文字: 50%以上

利用時の

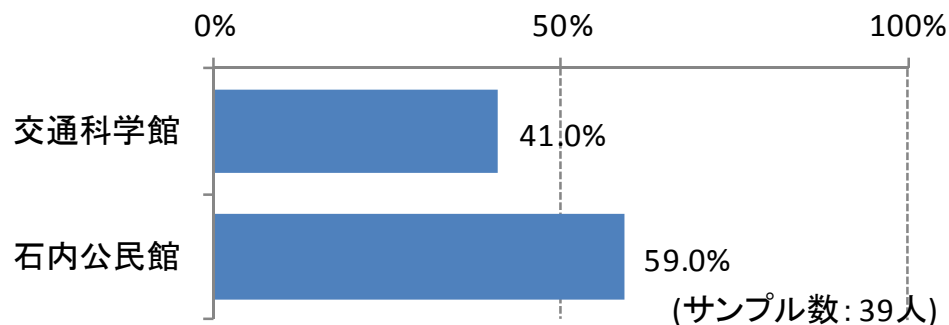


Ⅲ-2 試乗会アンケート結果

(1) 調査の概要

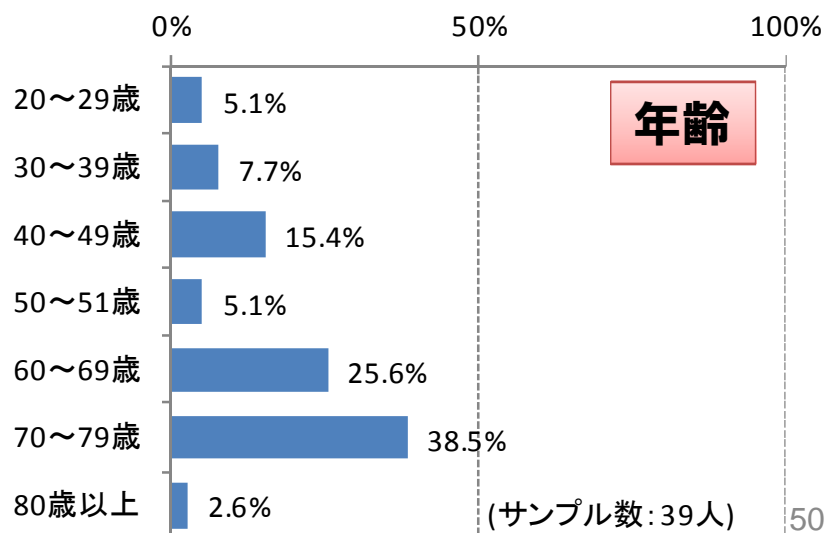
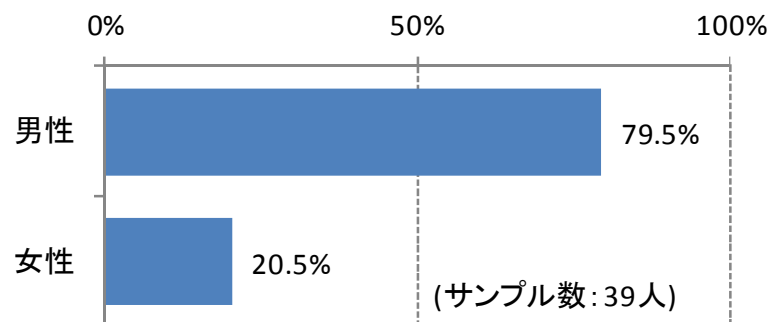
- ・認知度の向上のためのイベント実施時に、試乗会へ参加した方にアンケート調査を依頼。39人が回答。

会場



個人属性

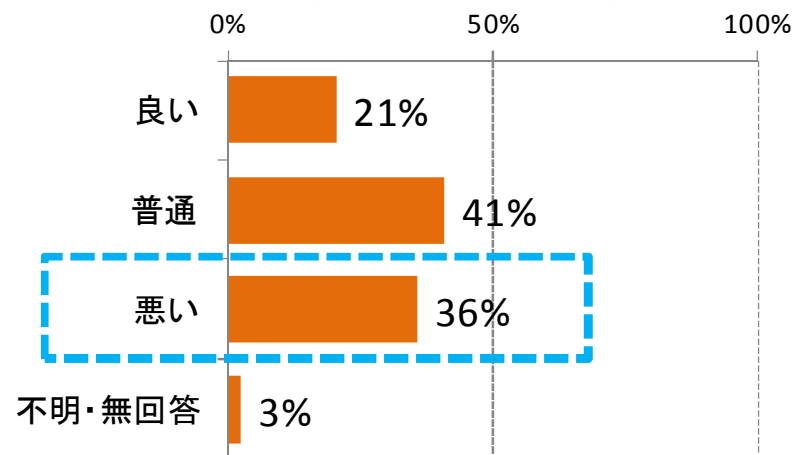
別



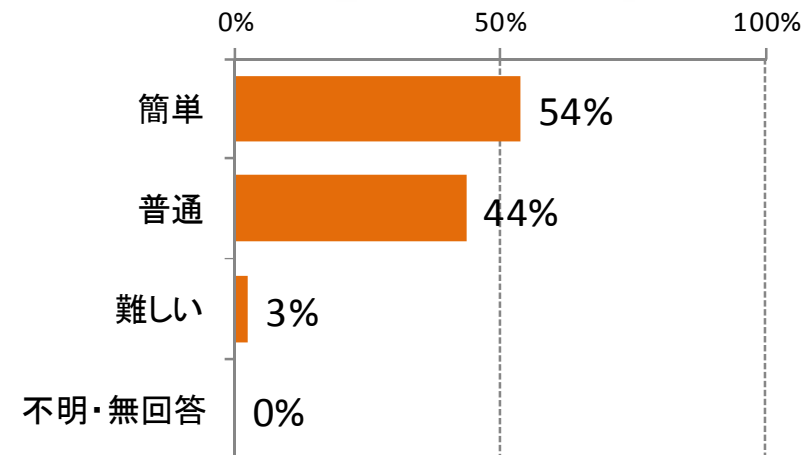
(2) 調査結果の概要

○試乗運転後の評価（走行や操作に関して）

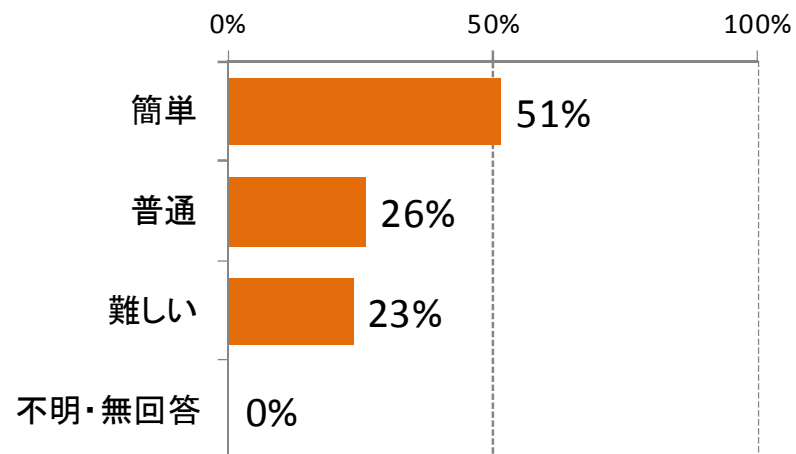
乗り心地



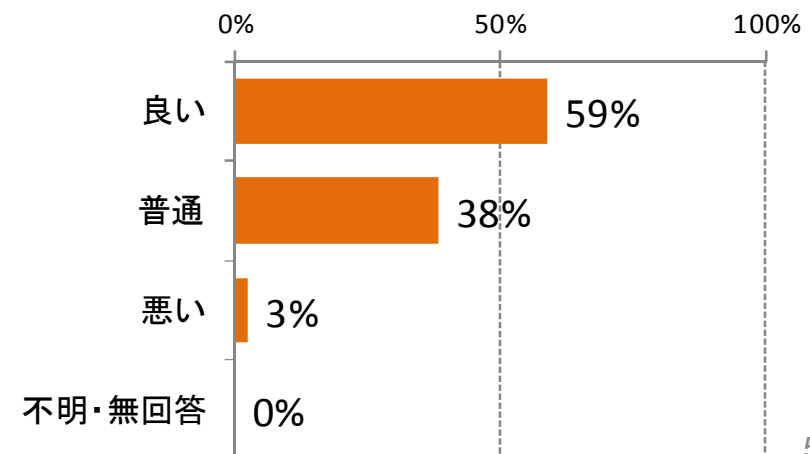
操作性



乗り降りのしやすさ



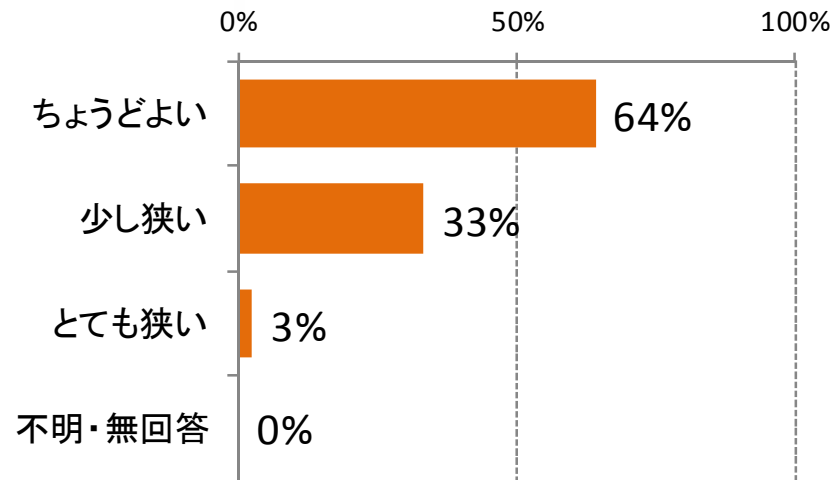
のぼり坂の走行性



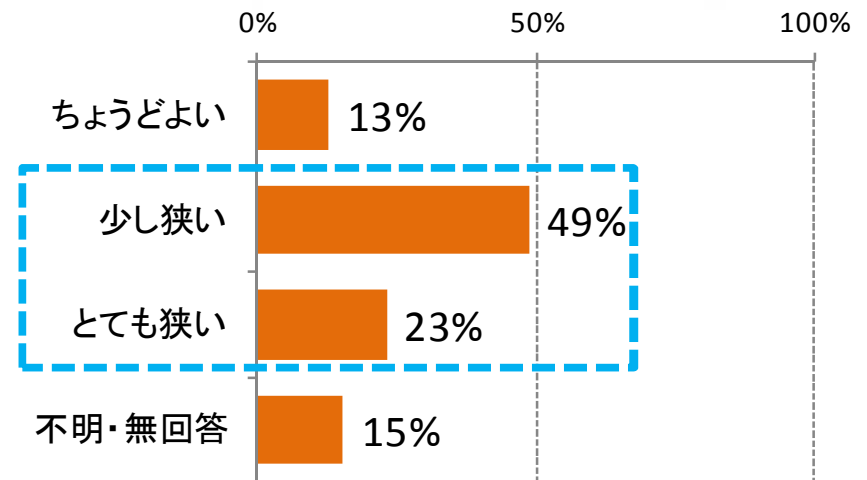
(サンプル数：39人)

○試乗運転後の評価（車両に関して）

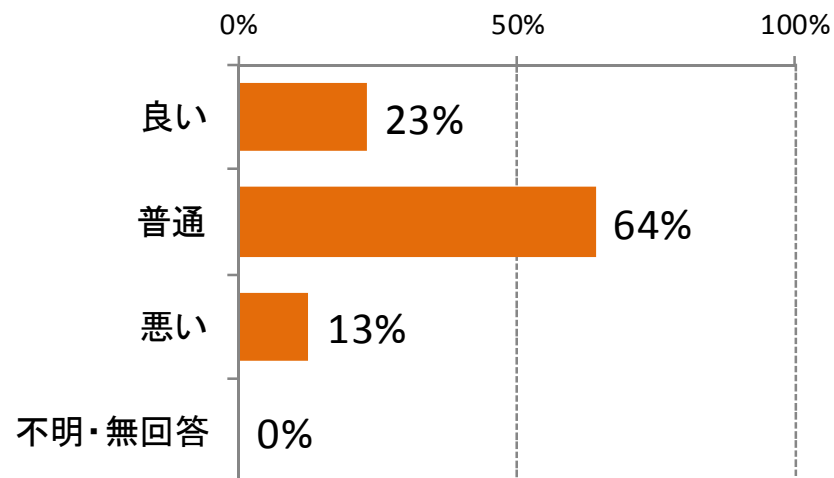
車内スペース(前席)



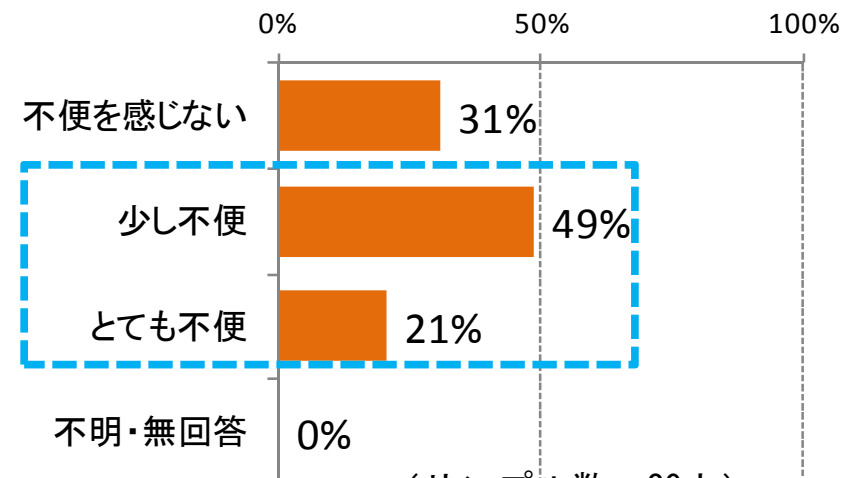
車内スペース(後席)



車内空間の快適性

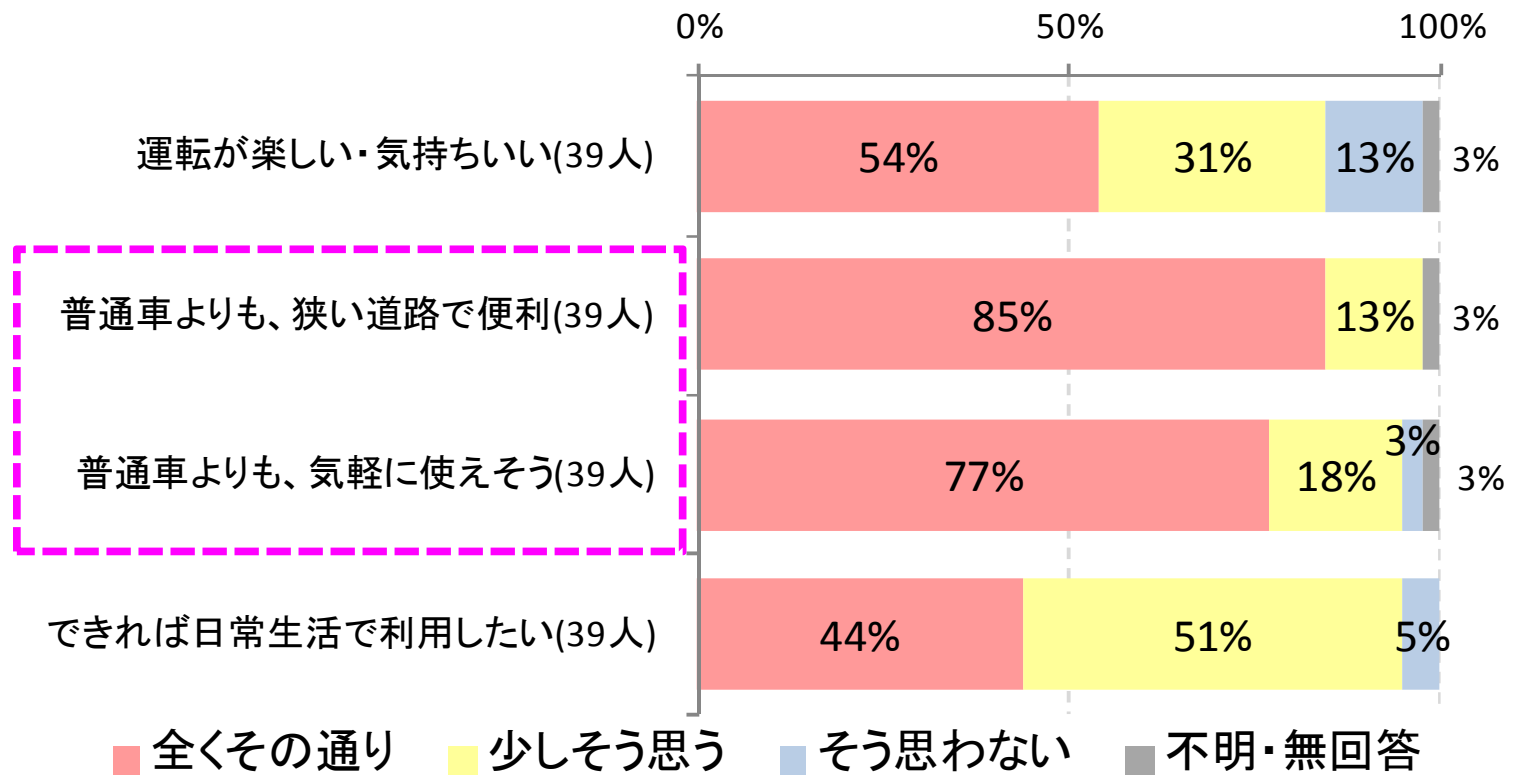


窓がないことについて



(サンプル数：39人) 52

○試乗運転後の評価 (普通車や軽自動車と比べてどうか)



() 内はサンプル数

(3) 調査結果のまとめ

①生活スタイル、地域特性への適合性

- ➡ 子育て世代は、「買物」・「送迎」の利用が比較的多く、子供と2人で利用する割合が高い。
- ➡ 高齢者は、「趣味・娯楽」・「地域活動」での利用が比較的多く、外出機会の増加等が期待できる。
- ➡ 狭い道や登り坂での評価が高く、西風新都の地形や道路条件に適合している。
- ➡ 5 km未満、3 時間未満の短距離、短時間の利用実績が多い。
- ➡ 公共交通機関の端末交通として活用への期待は大きいものの、利用は低調であった。

②「超小型モビリティ」活用の可能性

- ➡ 「操作性・走行性」は全ての年代で評価は良好であった。
- ➡ 「乗り心地や快適性（車内スペース、窓がない等）」は、一般車両と比較するため、不満に感じた方が多い。

③「共同利用」の可能性

- ➡ モニター全体の約 6 割が利用意向を示している。
- ➡ 支払える料金は 1 回300円までとする意見が最も多い。
- ➡ 「乗りたい時に乗れない」、「管理、調整」が大変などを問題視する意見も少なくない。

(4) H26実証実験を踏まえた今後の進め方について

- 地形的な制約のある西風新都において、幅広い年齢層に対応し、短距離の需要を満たす新たな交通手段として、超小型モビリティの有効性が確認された。
- 地域での共同利用の実施には、グループリーダーにあまり負担をかけないで、管理がしやすく、車両の効率的な利用調整が行えるシステムが必要である。

平成27年度 ～超小型モビリティの共同利用システムの社会定着の検証～

ICT技術を活用し、利用しやすい(気遣いの少ない)予約システムを導入することで地域の負担を軽減し、社会定着可能な小規模な共同利用システムの実証実験を行い、以下を明らかにする。

- 事業性(収支)
- 想定される効果の検証
- 車両の改善点
- 導入の際に必要な公共の支援内容

本格実施の判断

[平成28年度以降] 地域団体等による共同利用の本格実施

IV 今後のスケジュール(案)

IV 今後のスケジュール(案)

	平成26年度						平成27年度
					1		
超小型モビリティの有効性の検証	<div>← 実証実験 →</div> <div>イベント活用による認知度向上 ← →</div> <div>ICTを活用した予約システム検討 ← →</div> <div>← 結果とりまとめ →</div>						超小型モビリティの 共同利用システムの 社会定着の検証 (実証実験) <div>→</div>
研究会	○ 第5回 ・実験概要 ・調査方法			○ 第6回 ・実験結果(速報) について今回			